

# 平成22年度 事業計画書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

学校法人 九州国際大学

# 目 次

I. 基本方針	2
II. 平成 22 年度予算案について	2
1. 収入の部	3
2. 支出の部	3
III. 事業計画・方針	4
[学校法人]	
1. 人事関係	4
2. 施設拡充関係	4
3. 財務関係	4
[九州国際大学]	
1. 教育概要	5
2. 教育支援・カリキュラム運営	5
3. 初年次教育	6
4. FD・SD活動の推進	6
5. 大学コンソーシアム関門事業	6
6. 国際交流事業	6
7. 認証評価事業	6
[九州国際大学付属高等学校]	
1. 共学部運営	7
2. 新クラス編成	7
3. 年間行事(予定)	7
[九州国際大学付属中・高等学校]	
1. 中学・高等学校(一貫部)運営	9
2. 年間行事(予定)	9

## I. 基本方針

1930年(昭和5年)4月に九州法学校設立以来、塾的精神によって、互いに切磋琢磨して精神を鍛え、社会に貢献できる人材の育成に力を注いできた。平成22年度は、学園創起80周年を迎えるにあたり、建学の精神に基づき再出発する年度となる。

本学園中期経営計画は、既に平成21年5月の理事会において承認を得て実行段階にある。本計画は、平成20年～24年(5ヶ年間)の3年目に入り、経営の建て直しのために期限と目標を明確にした経営改善が必要となっている。改善計画の実行にあたっては、財務的な裏づけがあるものとして経営資源の選択と集中を図り、組織の構成員がこれらの情報を共有し、法人一体で改革に取り組むものとする。

## II. 平成22年度予算案

景気低迷により、教育産業においても、学費等の経済的に支援する立場である保護者の雇用情勢が悪化し解雇となるなどの理由で就学継続を断念せざるを得ないケースがある。一方、新規学校卒業者を取り巻く就職環境においても、同様に厳しい状況から脱却できず未就職のまま卒業を迎える学生が少なくない。

大学では、応急的な経済的支援策として地元出身者を応援するため「ガンバレ北九州・経済支援対策制度」を設け、大学進学希望者の一助となるべく保護者の経済負担を軽減した。

高等学校では、従来「男子部」「女子部」として別カリキュラムにて運営していた体制から「男女共学」という体制に改め、早い段階から広報してきたこと、また、硬式野球部の甲子園出場によるメディアPRの効果を果たしたことから県下トップの志願者を集め、高校・大学共に入学者が増加傾向にある。

このように、全学を挙げての教育改革とPR効果が一定の成果を挙げて、大学・高等学校・中学校各部門の入学人数は一定レベルに留まると予測しているものの、経済支援策等による減免措置により大幅な収入増加は期待できない。よって、予算案(消費収支計算書)は、帰属収入3,272百万円に対し消費支出3,936百万円(奨学費・減価償却費・予備費含む)で編成することとなった。しかしながら、予算執行の際は、学納金・補助金を中心とした資金収入で支出を賄うことを目標として手持資金の減少を極力抑制しつつ事業執行にあたるものとする。

### — 平成22年度 学校法人 九州国際大学予算案 —

#### 消費収支計算書

消費収入の部		消費支出の部	
<b>学生生徒等納付金</b>	<b>2,252,305</b>	<b>人件費</b>	<b>2,279,683</b>
(授業料)	1,610,355	(教員人件費)	1,580,108
(保護者負担軽減額)	△ 17,621	(職員人件費)	613,199
(入学金)	111,410	(役員報酬)	36,944
(実験実習料)	750	(退職金)	20,890
(施設設備資金)	59,760	(退職給与引当金繰入額)	28,542
(教育充実費)	487,651	<b>教育研究経費</b>	<b>1,179,755</b>
<b>手数料</b>	<b>70,798</b>	(奨学費)	336,545
(入学検定料)	64,156	(減価償却額)	353,615
<b>補助金</b>	<b>729,525</b>	<b>管理経費</b>	<b>413,199</b>
(国庫補助金)	196,490	(減価償却額)	83,800
(地方公共団体補助金)	532,810	<b>借入金等利息</b>	<b>14,165</b>
(その他の補助金)	225	<b>資産処分差額</b>	<b>0</b>
<b>資産運用収入</b>	<b>58,050</b>		
<b>事業収入</b>	<b>95,234</b>		
(補助活動収入)	94,434		
(受託事業収入)	800		
<b>雑収入</b>	<b>66,670</b>	<b>[予備費]</b>	<b>50,000</b>
<b>帰属収入合計</b>	<b>3,272,582</b>	<b>消費支出の部合計</b>	<b>3,936,802</b>
<b>基本金組入額合計</b>	<b>△ 140,562</b>	<b>当年度消費支出超過額</b>	<b>804,782</b>
<b>消費収入の部合計</b>	<b>3,132,020</b>		

※( )内は、主な科目を内数として表示

## 1. 収入の部

### (1) 学生生徒納付金

入学定員確保を重要課題として募集活動に取り組む。一方、退学防止のための学生支援に取組み収入減を抑制する。

### (2) 補助金収入

平成 21 年度大学経常費補助金については、人件費・経費共に削減した結果、補助対象分母が縮小し、一般補助を特別補助が上回る結果となった。大学の消費収入における補助金依存率は 11～12%であり、過去の受給傾向から予測し収入計上した。

高校・中学部門における経常費補助金は、学生割り配分額(単価)が大きく学生数の増減に大きく影響を受けるため、これを踏まえて収入計上した。

### (3) 資産運用収入

平成 21 年度は、退職給与引当特定資産のうち 2 銘柄が満期償還となり、これを定期預金による運用に移行した。

減価償却引当特定資産のうち 3 銘柄は繰上償還となり定期預金による運用に移行、別途 1 銘柄は満期前売却し同様に定期預金にて運用している。

特定目的資産の運用については、平成 22 年度も引き続き銀行預金中心の運用を行い安全性・流動性重視とする。

また、施設設備利用料について、学園の PR を兼ねて広く周知・利用促進し、増収に努める。

### (4) 事業収入

受託研究事業について、平成 21 年度は、国・地方自治体等からの受託研究の件数が増加した。今後は、自治体・企業・研究機関との連携により、国策・地域政策と合致した実践的研究に参画することが学園の存在意義・評価を高めるものと思われる。については、次年度も継続して外部資金(学外研究)獲得を推進し、研究費調達が多様化を促進する。

寮運営事業について、平成 22 年度より大学・高校(男子寮)に加えて、高校(女子寮)を整備した。大幅な支出超過とならないよう所有から利用への思考の転換等をまじえた経費削減に努め、寮生の教育面・生活面をサポートしていく。また、寮費等の未収入金の回収に努める。

## 2. 支出の部

### (1) 人件費

「早期退職制度実施」「諸手当見直し」「賞与支給水準見直し」を行い人件費の抑制に努める。

### (2) 経費

消耗品・旅費・諸会費・報酬等、経費全般を通じて慣例的となっている予算の単価・人数・頻度等を見直した。

教育研究費では費用割合の大きい「奨学費」「光熱水費」「委託管理費」「賃借料」の削減に努める。特に「奨学費」については、各種奨学制度を設けたことにより費用が拡大傾向にあるため、ルール・基準を設けて段階的に経費を抑制したい。

管理経費では、「印刷製本費」「賃借料」「委託管理費」「広告費」の占める割合が大きく教育研究費と同様に重点項目として費用削減に努めたい。中でも「広告費」＝「募集経費」ということで安易な削減を避け、慎重な内容精査が必要と思われるものについては効果予測・検討を行い経費削減した。

### (3) 施設設備

設備投資については、法令義務(耐震等)・安全確保を優先し事業実施にあたる。その他機器備品・図書の購入については、必要最小限度の投資に留める。

### Ⅲ. 事業計画・方針

#### [学校法人]

#### 1. 人事関係

##### (1) 人事考課制度

平成 20 年度に「学校法人九州国際大学行動規範」を制定し、教職員の資質を向上させるとともに教育機関として最も重要な教育力の向上、ならびに組織の活性化を図る目的でトータル人事制度を導入した。

個人調書の提出による基礎データの収集、目標管理シート・業績報告書による達成度評価を実施しながら、管理職レベルでは、「人事考課者研修」「目標管理制度研修」を実施してきた。平成 22 年度は、運用初年度の課題を改善しつつ人事考課制度を軌道にのせる。

##### (2) 早期退職優遇制度

トータル人事制度の導入と同時に「学校法人九州国際大学早期退職優遇制度実施内規」を制定した。

本学園が雇用する職員の生活設計の多様化に対応するため平成 22 年度も引き続き高年齢職員等に対して退職勧奨する。

#### 2. 施設拡充関係

##### (平野キャンパス)

場 所	内 容
1号館	エレベーター各階乗り場戸 ロープ交換工事
1号館	2階大会議室タイルカーペット取替工事
2号館	熱源1～5号機修理工事
2号館	2号館 自動扉不具合箇所修理工事
3号館	エレベーターロープ交換工事
研究棟	7階ラウンジタイルカーペット取替工事
KIUホール	熱源氷蓄熱ユニット2号機修理工事
体育館アリーナ	アリーナ研磨修理工事

##### (枝光キャンパス)

場 所	内 容
B棟	熱源2号機オーバーホール
共用棟	消防設備不具合機器取替工事
第一体育館	消防設備不具合機器取替工事
第一体育館	外壁補修工事
第二体育館	消防設備不具合機器取替工事
第三体育館	自動火災報知器設備改修工事
第三体育館	消防設備不具合機器取替工事
KIUクラブ	消防設備不具合機器取替工事
武道館	消防設備不具合機器取替工事
第5校舎横	側溝設置工事

#### 3. 財務関係

特定目的資産について、平成 21 年度期中に満期前償還となった資金については、引き続き定期預金等の安全性の高い運用に努める。

また、日本私立学校振興・共済事業団(以下事業団)からの借入金は順調に返済しており、平成 22 年度の返済額 125 百万円(利息含む)も約定日までに返済完了する(総負債比率低下)。このうち、事業団から融資を受けて実施した学校施設整備事業借入利息については、「私立学校施設高度化推進事業費補助金」の申請を行う。

**[九州国際大学]**

**1. 教育概要**

平成 21 年度 4 月より、「地域社会の即戦力人材を養成」することを目的として各学部にて新規コース・履修モデル・教育支援制度を導入し、個々の学生に対応した教育プログラムを展開している。

また、全学部・学科を対象として、実社会で役立つ「リーダーシップ能力」「コミュニケーション能力」等の社会人基礎力をスポーツの側面から養成し、地域社会のリーダーの人材を育成する「スポーツ指導員副専攻」を導入した。

平成 22 年度は、これら各コース・各プログラムの講義科目の概ねが本格稼動する。

**<コース制・履修モデル等の概要>**

		学部教育		スポーツ指導員副専攻	
法学部	法律学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>■リスクマネジメントコース</li> </ul>	警察官をはじめ公務員志望者に最適なコース。社会的ニーズの高い「問題解決力」を身につけられ、受験対策から将来のキャリア形成まで幅広い段階で役に立つプログラム。	<b>エクステンションセンター</b> <b>公務員講座受講補助</b>	スポーツ指導員副専攻を履修することで実社会で役立つ「リーダーシップ能力」「コミュニケーション能力」等の社会人基礎力をスポーツの側面から養成し、地域社会のリーダーの人材を育成する。 この副専攻にてスポーツ指導者となるための科目を修了すると下記資格が取得できる。  <日本体育協会> ●「スポーツリーダー」資格 ●「ジュニアスポーツ指導員」資格
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■不動産管理コース</li> </ul>	資格を取得して不動産業界での活躍、地方自治体行政職員として地域の活性化への貢献、デベロッパーと呼ばれる開発企業に就職し、大規模な宅地造成やリゾート開発・再開発事業で夢を与える仕事を目指す。		
経済学部	経済学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公務員・ビジネス履修モデル</li> <li>■金融ファイナンス履修モデル</li> <li>■ベーシック履修モデル</li> </ul>	学部専門科目との連携や受験料の補助といった資格取得支援プログラムを実施。		
	経営学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ビジネスマネジメント履修モデル</li> <li>■情報ビジネス履修モデル</li> <li>■アカウンティング実務履修モデル</li> </ul>	<資格取得プログラム> ●日本漢字能力検定試験3級以上 ●日商簿記検定試験3級以上 ●経営学検定試験初級以上(経営学科のみ)		
国際関係学部	国際関係学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ハングルコース</li> </ul>	実践的な韓国語教育を通じて日韓新時代を切り開くスペシャリストを育成すると共に、九州地域における韓国語教育の拠点形成を目指す。  <KIUイングリッシュ・チュートリアル> 英語教育の発展充実のため授業や留学に必要な英会話力の補完的役割を担う。		

**2. 教育支援・カリキュラム運営**

**(全学)**

平成 21 年度よりスポーツ副専攻制度を導入し 2 年目を迎える。カリキュラムではスポーツ指導員科目の運用が講義科目・実技科目ともに稼動し始める。また、将来公務員(警察官・消防士・市町村・地方上級・国家Ⅱ種等)を目指す学生を対象として本学エクステンションセンターの公務員講座受講補助を実施しキャリア教育を支援する。

**(法学部)**

平成 21 年度に導入した「リスクマネジメントコース」「不動産管理コース」に関して、カリキュラムにおけるリスクマネジメント科目・不動産関連の科目が稼動し始める。これら法学部の授業科目と並行して就職活動で強みとなる各種資格取得を支援する目的で「資格取得学生奨励制度」「ビジネス実務法務検定受験補助制度」を設けキャリア教育をバックアップする。

**(経済学部)**

経済学科、経営学科において各学科で3つの履修モデルを設定している。経済学科では「公務員・ビジネスモデル」「金融ファイナンスモデル」「ベーシックモデル」、経営学科では「ビジネスマネジメントモデル」「情報ビジネスモデル」「アカウンティング実務モデル」を展開し、これら履修モデルを参考にして将来の進路に合わせて学習する。これに加え、学部専門科目との連携や資格検定補助を行う資格取得支援プログラム(日本漢字能力検定試験、日商簿記検定試験、経営学検定試験初級)を実施する。

### (国際関係学部)

平成 21 年度より日韓交流の中心となる北九州市域にて活躍できる人材を育成する目的で、語学力と国際教養を育成するハングルコースを設けた。カリキュラムでは、これら国際言語科目群(韓国語系)が稼動し始める。

国際関係学部授業科目と並行して「KIUイングリッシュ・チュートリアル」を設け、英語教育の発展充実のため授業の補完的役割や学生の留学に必要な英会話力向上を支援する。

また、夏期英語合宿では、外国人スタッフを招聘して英語を中心とした研修生活を送ることで教員・学生間で親睦を深めながら英会話力を強化する。

### (大学院)

大学院修士課程は、高度専門職業人の養成を目的としての知識と専門性を高めていく。

法学研究科では、企業や行政の現場で発生する、さまざまな問題を解決するための法知識の習得を目指す。

企業政策研究科では、経営実務に関する高度な知識、企業を取り巻く外部環境にかかわる専門知識をもつ人材の育成を目指す。

平成 21 年度に導入した「法学研究科特修プログラム」「長期履修制度」に関して、平成 22 年度より両制度を適用した学生を受け入れて研究指導していく。

## 3. 初年次教育

入学者の目的意識の低下、学力や職業意識の低下により退学者が増加している。中教審が定義する「学士力」、経産省が定義する「社会人基礎力」を前提として教える教育から育てる教育に取り組む。これら取組みの一環として新入生研修(FM:フレッシュャーズ・ミーティング)、体験学習(PA:プロジェクトアドベンチャー)、学生に応じた目的達成支援(PASS:Project of Achievement Support for Students)を実施する。

## 4. FD・SD活動の推進

既に、学校法人九州国際大学職員人事規則にもとづき教職員の能力開発及び資質の向上を目的として恒常的に研修等を実施している。FD(ファカルティディベロップメント)・SD(スタッフディベロップメント)活動の目的は、教職員の職能開発であることはもとより、教育の質的向上にある。これまで、「学士課程教育の質的保証」「初年次教育」等を中心として各学部・各研究科において実施されてきた研修内容を継続的に展開する。

また、 Semester毎に実施している授業アンケートの分析結果などを踏まえて、FD委員会・教務委員会において対策を講じ授業運営の改善を行う。

さらに、他大学の先進事例について情報を得る、研修会を実施するなどして恒常的にFD・SD活動を推進する。

## 5. 大学コンソーシアム関門事業

関門地域の高等教育機関が相互に連携・協力し、関門地域の高等教育の充実及び発展を図るとともに、地域社会へ貢献する目的で参加大学によりオリジナルの講義を提供するとしている。本学においても、コンソーシアム事業を推進し講義提供等を実施する。

## 6. 国際交流事業

韓国東亜大学校より短期留学生を受け入れ、別科日本語研修課程の日本語講義を中心として学習しながら、日本の文化に触れ国際感覚を身に付ける目的で国際交流プログラムを実施する。

## 7. 認証評価事業

平成 19 年度に大学基準協会による認証評価を受けたものの“教員組織が大学設置基準を満たしていない”などの理由から「評価保留」となった。その後、指摘事項を踏まえ中期計画の策定し、これまで実行してきた改善・改革の取組み状況とその結果を踏まえ平成 22 年度に再評価を受審する。

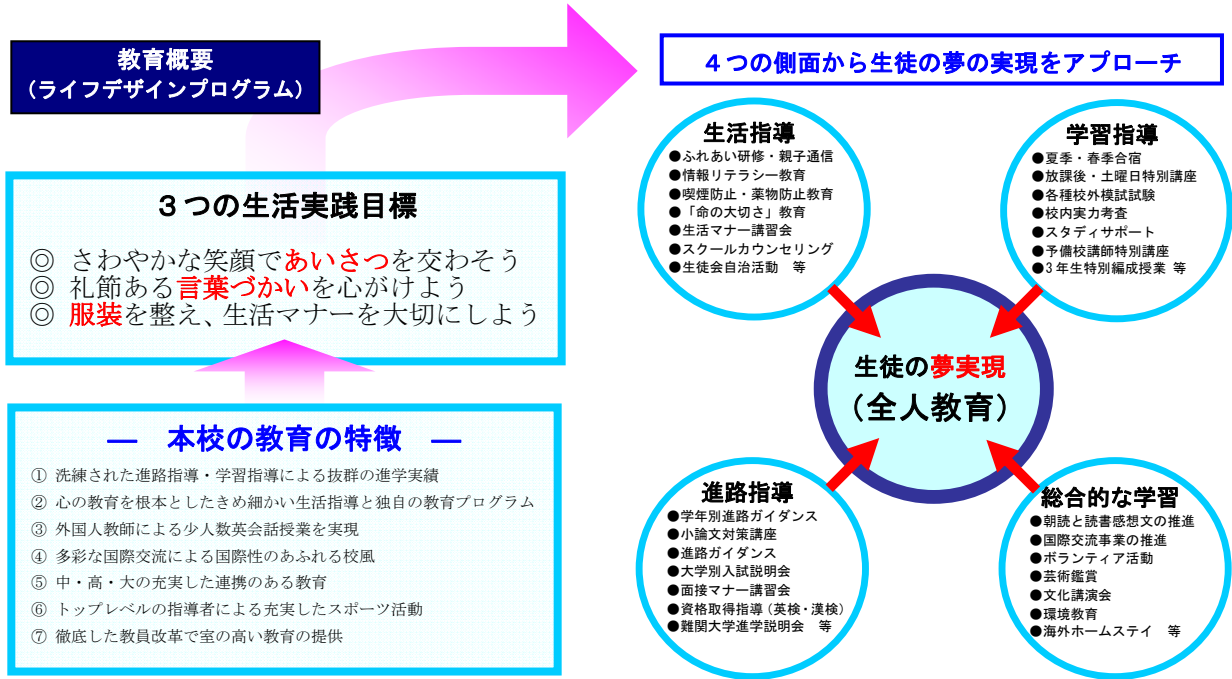
## [九州国際大学付属高等学校]

### 1. 共学部運営

平成 22 年度より、男子部、女子部ならびに一貫部を統合した新たな高等学校(共学部)がスタートする。

男女共学となることにより、教職員・生徒の力をより結集し、独自性のある一層活力のある学校づくりに取り組む。

また、男子部、女子部、一貫部、各々のよき伝統(進学実績、スポーツ実績、生徒会活動、国際交流活動)を継承し、より質の高い教育内容を誇る学校づくりを目指す。



### 2. 新クラス編成

クラス編成	概要
難関クラス	九州大学以上の難関大学・国立大学医学部への合格を目指す。クラブ活動への参加も可能。
特進クラス	国公立大学への合格を目指す。クラブ活動や学業との両立も目標。
準特進クラス	特進クラスへのステップアップを目指す。国公立・私立の中堅大学への合格が目標。
進学クラス	特進・準特進クラスへのステップアップを目指す。国公立・私立大学への合格が目標。
国際コミュニケーションクラス	英語教育の重点を置き、国際感覚を身につけながら大学進学を目指す。
トップアスリートクラス	クラブ活動と勉強の両立を果たしながら、全国大会出場を目指す。また、基礎力の充実を図りながら大学進学を目指す。

※2・3年生は、旧男子部・旧女子部体制でのクラス編成・カリキュラムにより授業運営を実施する。

### 3. 年間行事(予定)

	1学年	2学年	3学年
4月	入学式 ふれあい宿泊研修 スタディサポート 部活動紹介と体験入部 情報リテラシー教育 自己マネジメントプログラムガイダンス	個人面談週間 進路目標の設定と計画作成 情報リテラシー教育 「私の目指す道」作文作成 自己マネジメントプログラムガイダンス 親睦遠足	進路ガイダンス 個人面談週間 進路別到達度確認校外模試 志望校設定と受験対策スケジュール作成 親睦遠足
5月	個人面談週間 進路適正検査・進路志望調査 マナーの講習会 「私の将来の夢」作文作成 文化祭準備	小論文講座(基本教育) 職業調べ(レポート作成) 文化祭準備 喫煙防止講座 進路ガイダンス	成績分析と目標の設定 面接マナー講習会 学習方法の点検(教科別指導) 志望校研究(レポート作成) 文化祭準備



	喫煙防止講座 教務ガイダンス	進路志望調査	進路志望調査
6月	農業体験「九国菜園」活動 ラブアースクリーン運動 置換防止講座(女子) 文化祭 進路ガイダンス	進路保護者ガイダンス 志望学部・学科研究(レポート作成) 進路講演会 文化祭	進路別到達度確認校外模試 志望校研究と入試問題対策 小論文講座 文化祭
7月	校外模試 薬物防止講座 個人面談週間 培花女子高との国際交流 クラスマッチ 英検対策講座	校外模試 個人面談週間 培花女子高との国際交流 薬物防止講座 クラスマッチ 英検対策講座	保護者同伴進路説明会 個人面談週間 入試対策特別講座 培花女子高との国際交流 クラスマッチ 英検対策講座
8月	夏期学習合宿 オープンキャンパス参加 職業研究(レポート作成) 特別強化セミナー 進学説明会(九国大)	夏期学習合宿 オープンキャンパス参加 企業・職場訪問(希望制) 小論文講座 特別強化セミナー 進学説明会(九国大)	夏期学習合宿 オープンキャンパス参加 進路別到達度確認校外模試 小論文講座 大学別セミナー 大学別入試説明会 進学説明会(九国大)
9月	スタディサポート 職業研究の報告 読書運動の推進 体育大会	スタディサポート 救急救命訓練 卒業生による体験講座 体育大会	自己成績分析と目標の再設定 2学期の学習計画の確認・修正
10月	個人面談週間 人権講演会 高大連携授業	個人面談週間 人権講演会 高大連携授業 修学旅行(観光の場合)	人権講演会 個人面談週間 面接対策
11月	芸術鑑賞 九国菜園焼き芋大会 英検対策講座 スピーチ原稿作成 クラススピーチコンテスト	芸術鑑賞 英検対策講座	芸術鑑賞 面接対策 小論文講座 英検対策講座
12月	美化コンクール 読書感想文の作成推進 福祉問題講演会 「命の大切さを学ぶ」講座 学年スピーチコンテスト	福祉について考える(1) 美化コンクール 読書感想文の作成推進 「命の大切さを学ぶ」講座	美化コンクール 青少年法律講座 特別編成授業・センター試験対策 総合的学習の自己評価と総括 「命の大切さを学ぶ」講座
1月	読書感想文の作成 3年生合格体験談発表会 情報リテラシー教育	福祉について考える(2) 3年生合格体験談発表会 情報リテラシー教育 受験体制の設計(レポート作成)	特別編成授業・センター試験対策 私大・国公立大二次対策講座
2月	進路講演会 個人面談週間	進路研究会(学部・学科別) 保護者対象進路説明会 修学旅行(スキーの場合) 進路志望動機所作成	消費者センター講演会 私大・国公立大二次対策講座
3月	スタディサポート 春期学習合宿 農業体験(九国菜園)研究発表 自己総括	スタディサポート 春期学習合宿 自己総括	卒業式

## [九州国際大学附属中・高等学校]

### 1. 中学・高等学校(一貫部)運営

中学・高等学校(一貫部)は、その教育目標に「知・徳・体の調和のとれた人間教育」「個性や能力に基づいた希望進路の実現」を掲げている。充実した中学校生活を過ごし、たしかな知力と徳力、体力を身につけ、より高い進路の実現を目指す。

### 2. 年間行事(予定)

		附属中・高等学校
4月	始業式 入学式 授業参観 個人面談	
5月	「北九ウォーク」  皿倉登山(1, 2年)  長崎街道ウォーク(3, 4年) ぐるっと関門(5年) 太宰府合格祈願(6年) 中間考査	<p>■北九ウォーク</p> <p>私たちの町「北九州」の歴史や文化に触れることによって、町の様子を知り、私たちの未来を考える。1・2年次には「皿倉山ボランティア登山」を行う。3・4年次の「長崎街道ウォーク」は木屋瀬～小倉間の25kmを歩き、心身を鍛える。5年次の「ぐるっと関門」は門司・下関を散策する。</p>
6月	文化発表会  期末考査  生徒会長選挙	<p>■文化発表会</p> <p>生徒会が中心となって全校あげて行います。ステージでは生徒たちが日頃思っていることを表現するS-1グランプリなど盛りだくさんのプログラム。また、学年ごとの模擬店や展示など各教室でも文化発表会を盛り上げる。</p>
7月	自然体験教室(1年) 産業科学体験学習(3年) 終業式 夏期課外 保護者会 企業訪問(5年)	
8月	夏期課外 九大オープンキャンパス(5年)	
9月	始業式  体育大会  個人面談	<p>■体育大会</p> <p>中学生と高校生が協力して作り上げる体育大会は大変盛り上がる。全員参加の応援合戦では、高校生が中学生を熱心にリードする。</p>
10月	授業参観  中間考査  海外体験教室(4年)	<p>■海外体験学習</p> <p>ファームステイや学校交流を通し、現地の人たちとのコミュニケーションをはかる。異なる文化・習慣を肌で感じ、日本を違う視点から見つめなおすことができる。</p>
11月	芸術鑑賞 近代化遺産体験学習(2年) 期末考査	
12月	音楽祭	■音楽祭

	<p>終業式</p> <p>保護者会 冬期課外</p>	<p>響ホールという大きなホールを借り切って、1年生から3年生がクラス単位で課題曲と自由曲を歌う。個人発表ではオーディションで合格した生徒たちが、日頃練習した成果をステージで発表する。</p>
1月	<p>始業式</p> <p>百人一首大会(1, 2年)</p> <p>中学校入試</p>	
2月	<p>スキー体験教室(2年)</p> <p>学年末考査</p>	
3月	<p>卒業式</p> <p>自由研究論文発表会</p> <p>英語スピーチコンテスト</p> <p>クラスマッチ</p> <p>修了式</p>	<p>■英語スピーチコンテスト</p> <p>全員参加の予選を勝ち抜いた代表者たちが本選大会で発表する。</p>



発行／学校法人 九州国際大学 法人事務局  
〒805-8513 北九州市八幡東区平野二丁目 5-1  
TEL : 093-671-8900 FAX : 093-671-9032